

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百三十五號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月一日(土)

○令 達

官房機密第九〇九七號ノ四
特設運送船日産丸、長光丸、明石山丸及第二號東光丸
ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ昭和十五年官房機密第七
四四五號ノ五ニ拘ラズ横須賀海軍經理部部員ヲシテ之
ヲ掌理セシム

昭和十六年十月十五日

海 軍 大 臣

(参照) 昭和十五年官房機密第七四四五號ノ五ハ主計科准士官以上
ノ者ヲ登カレザル特設艦船部隊ノ經費掌理ノ件ナリ

官房第五六八三號

佐世保海軍港務部保管中ノ特務艦鶴見還納内火艇一隻
及軍艦赤城還納通船一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番
號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十六年十一月一日

海 軍 大 臣

海軍公報(部内限)第三千九百三十五號

昭和十六年十一月一日

一四四七

公稱番號	船 種	所 屬	定 數 別	記 事
第四八號	内 火 艇 (九米)	佐世保潜水 艦基地隊	臨時附屬	特務艦鶴見還 納ノモノ
第四八四號	傳 馬 船 (九米)	同	同	軍艦赤城還納 ノモノ

略 語	原 語	頁	列	行
セムサ	職務參謀	發信用四一 受信用四一	發信用左 受信用左	發信用二四 受信用二七
ナケ	南遣艦隊	三三 三三	左 左	二五 二五
アノ	阿賀野	一四 一四	右 右	一七 一七

官房第五六八四號
海軍通信略語中左ノ通鉛筆記入シ昭和十六年十二月一
日ヨリ實施セラル
追テ追加貼付紙ハ後送ス
昭和十六年十一月一日
海 軍 省 副 官

1018

イ ブ	カイ ケ	ハ ド	ヒ キ プ	キ ザ	ソ ム	ブ コ	シ セ ウ	シ セ ツ ギ	シ セ ツ 第 一 部	シ セ ツ (海軍)施設本部	シ セ ツ (海軍)施設本部	エ イ コ	ヘ カ イ	キ ミ	サ ン ヨ
醫務部	會計部	發動機部	飛行機部	器材部	總務部	分工場	支 廠	技術監 (海軍)施設本部	第 一 部	(海軍)施設本部	(海軍)施設本部	永興分遣隊	平海分遣隊	君川丸	山陽丸
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
一二 四二	一六 二二	二二 七二	一〇 二二	二二 二二	四二 五二	二二 三二	四二 三二	四二 四一	四二 四一	四二 四一	四二 四一	一四 八	一八 九	二一 七	三九 七
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
右右	右右	左右	左右	右右	左右	右右	右右	左左	左左	左左	左左	右右	左右	右右	左右
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
三 六〇	二 四九	二 二八	二 七七	三 〇五	二 二四	二 九三	三 〇一	三 七	二 六	一 五	二 九六	二 一五	九 五	三 〇〇	三 〇〇
海軍省事務ヲ囑託ス(三十九部同) 同 黒瀬勲一 海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金五拾圓ヲ贈與ス 海軍省事務囑託ヲ解ク 海軍省事務ヲ囑託ス(三十九部同)															
横須賀鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(ハ七部海軍省) 通信書記 吉田兵右衛門 專賣局部長 山田鐵之助 特務部總監 特務部經濟局 特務部衛生局 發送ノ見込 發送セシム 發令アリタリ															
〇 辭 令															
ハ ツ ア ハ ソ ム ハ ソ コ ト ク ム エ ト ク ム ケ ト ク ム セ ト ク ム ソ 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇															
四 八四 四 八四 四 八四 五 三二 五 三二 五 三二 五 三二 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇															
左右 左右 左右 左右 左右 左右 左右 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇															
二 五二 九 一 七 〇 二 八四 二 七 二 六〇 二 七八 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇															

英國ニ於ケル造船造兵監督事務囑託		廣瀬昌司
參百八拾八磅		
(通各)		
參百六拾四磅		淺井一三
獨國ニ於ケル造船造兵監督事務囑託		
六千九百六拾馬克		酒井直衛
自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス		
海軍整備特務大尉		松井良吉
佐世保海軍軍需部ニ於ケル航空關係業務囑託ヲ解キ		
第二十一海軍航空廠ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額		
千貳拾圓ヲ給ス(以上ノ同)		
松添健		
海軍省軍務局ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス		
黒住眞雄		
海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託シ海南警備府附ヲ命ス		
但シ報酬年額貳千五百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス		
海南警備府附		黒住眞雄
海南海軍特務部員ヲ命ス(十員同)		
秋山晴夫		
大本營海軍部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(十員同)		
海軍主計大佐		木寺寛爾
昭和十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス		
遞信書記官		長井實行
海軍省事務囑託ヲ解ク		
同		壺井玄剛
海軍省事務ヲ囑託ス		
同		中村政司
海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス		
海南警備府事務囑託		
五代敬信		
同		保坂虎雄
(各通)		
同		中込卯三次
同		廣瀬熾雄
海南警備府附ヲ命ス		
海南警備府附		五代敬信

海軍公報(部内限) 第三千九百三十五號 昭和十六年十一月一日 一四四九

(各通)

同 保坂 虎雄
同 中込 卯三
同 廣瀬 耀雄
海南海軍特務部部員ヲ命ス 田島 良幹

海軍航空技術廠飛行機部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内
限奏任官待遇トス

通信書記官 山田 一衛
横須賀鎮守府ニ於ケル軍事郵便事務ヲ囑託ス 商工技師 曾根 文二

海軍省事務囑託ヲ解ク

(各通)

徳江 徳
山本 公次
尾崎 紀男
山本 良造
木村 好太郎
高橋 己治郎
井口 一男

海軍航空本部ニ於ケル技術業務囑託ヲ解ク

石原 喜美雄

海軍航空本部ニ於ケル技術業務兼海軍航空技術廠ニ

於ケル技術業務囑託ヲ解ク

陸軍中佐 関 重永

第二海軍火藥廠ニ於ケル研究業務囑託ヲ解ク

海軍軍醫中將 田中 朝三

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

正四位勳三勳 佐藤 秀三

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限勅任官待
遇トス

氣象技師 畠山 久尙

(各通)

同 石丸 雄吉
同 伊東 彊自
同 村瀬 宗夫
同 高橋 浩一郎

水路部ニ於ケル氣象事務ヲ囑託ス

南洋廳氣象臺技師 菅原 芳生

(各通)

同 岩崎 龍雄
同 上井 兼文

第四海軍氣象部ニ於ケル氣象關係業務ヲ囑託ス

和田 清司

水戸 敏知

川井 尙文

(各通)

海軍齒科醫生徒ヲ命ス(以上二同)

海軍中佐 大井 篤

第一課勤務兼第二課勤務ヲ命ス(計二同海軍省人事局)

海軍大佐 仁科 宏造(艦本)

海軍中佐 藤本 傳(艦本)

同 栢原 保親(伊○潜)

同 渡邊 薰雄(航本)

同 堀 武雄(吳廠)

海軍少佐 田中 万喜夫(同右)

海軍大尉 島田 武夫(伊○潜)

海軍機關中佐 片桐 敏朗(艦本)

海軍機關少佐 岸本 健雄(伊○潜)

伊號第十潜水艦審議(航空關係)委員ヲ命ス(以上二同海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦復歸

第十五驅逐隊司令ハ十月二十五日司令驅逐艦ヲ早潮ヨリ夏潮ニ變更、同二十六日早潮ニ一時變更同日復歸セリ

○郵便物發送先

當隊宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

記

司令宛

主計長宛

軍醫長宛

機關長宛

夏潮 親潮 黒潮 早潮

(第十五驅逐隊)

○事務所撤去

伊號第十潜水艦艇裝具事務所ヲ十月三十一日撤去セリ

○雜役船飛鳥ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ上海方面根據地隊主計長兼上海海軍特別陸戰隊主計長海軍主計中佐中島仁三良ヲシテ掌理セシメ居リタル處十一月一日以降第十三砲艦隊附主計科士官ヲシテ之ヲ掌理セシム

(支那方面艦隊司令長官)

○特務艦石廊行動豫定

地名

着

發

横須賀

十月二十七日

海軍公報(部内限)第三千九百三十五號

昭和十六年十一月二日

一四五

四日市 吳下津 佐保 吳世(廣)津 下津

十月二十八日 十一月二日 十一月十日 十一月十五日 十一月十八日 十一月二十二日

十一月九日 十一月十三日 十一月十七日 十一月二十一日 十一月二十五日 十一月二十九日

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十一月一日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、山城▲、高雄、津輕
野分、舞風

伊七

驅潜特五三▲

知床、尻矢、野島

(伊三三)▲、(伊三七)▲

【長浦】

驅潜三

【横濱】

哨一▲

國後

(築紫)▲

(風雲)▲

【浦賀】

澤風

八丈

沖風、波風、野風

哨三四、哨三五

【大湊】

大泊

石廊

淺間▲、八雲▲、千代田、初鷹

若竹、吳竹、早苗

伊二〇、伊一八、伊三三、伊呂五七▲

呂五八▲、呂五九、伊五三、伊五三▲、伊五四

伊五五▲、伊五八、伊六六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜一九、

驅潜二〇、驅潜二

【四日市】

吳

伊二〇、伊一八、伊三三、伊呂五七▲

呂五八▲、呂五九、伊五三、伊五三▲、伊五四

伊五五▲、伊五八、伊六六

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜一九、

驅潜二〇、驅潜二

【大阪】

哨四六、哨三三

佐多、攝津、朝日、襟裳

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

矢風

(驅潜二四)

(伊良湖)▲、(伊三一)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲

(秋津洲)▲

(驅潜三三)▲、(若應)▲

伊六〇▲

摩耶

鳴戸

吾妻

薄雲

初雁、友鶴、千鳥、真鶴

哨三七

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、嚴島、八重山

望月、陸月、如月、彌生

呂三〇▲、呂三一▲、呂三三▲、伊呂三四▲

呂三三▲、呂六〇、伊五九

驅潜一五、驅潜三三、驅潜二四、驅潜二一、

驅潜特五一

哨三九、哨三八

敷島

(阿賀野)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

(伊四三)▲

驅潜特五二

【佐世保】

哨三七

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、嚴島、八重山

望月、陸月、如月、彌生

呂三〇▲、呂三一▲、呂三三▲、伊呂三四▲

呂三三▲、呂六〇、伊五九

驅潜一五、驅潜三三、驅潜二四、驅潜二一、

驅潜特五一

哨三九、哨三八

敷島

(阿賀野)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

(伊四三)▲

驅潜特五二

【長崎】

哨三七

鶴見、室戸

(夕雲)▲、(秋月)▲

北上、嚴島、八重山

望月、陸月、如月、彌生

呂三〇▲、呂三一▲、呂三三▲、伊呂三四▲

呂三三▲、呂六〇、伊五九

驅潜一五、驅潜三三、驅潜二四、驅潜二一、

驅潜特五一

哨三九、哨三八

敷島

(阿賀野)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

(伊四三)▲

出雲、宇治、安宅、二見、伏見、比良、
 熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、兩田、
 名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、長良、
 球磨、足柄、磐手、香椎、大守、
 日向、伊勢、比叡、霧島、古鷹、
 香取、扶桑、金剛、榛名、青葉、衣笠、
 加古、川内、龍驤、千歲、
 愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、
 三隈、最上、鈴谷、那珂、利根、筑摩、
 鹿島、蒼龍、飛龍、白鰲、蒼鷹、天龍、
 龍田、夕張、迅鯨、勝力、駒橋、
 沖島、常磐、阿武隈、能登呂、五十鈴、
 長鯨、赤城、加賀、神通、翔鶴、
 鬼怒、由良、瑞鶴、石垣、大井、瑞鳳、
 多摩、木曾、神威、鳳翔、
 神風、沼風、村雨、春雨、五月雨、夕立、
 汐風、帆風、春風、松風、朝風、旗風、
 大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、
 山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲、
 東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、浦波、
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、若葉、初霜、
 子日、初春、水無月、文月、皐月、長月、
 菊月、夕月、卯月、曉、響、電、栗、
 梅、蓮、臘、早潮、親潮、夏潮、黑潮、
 時津風、初風、雪風、天津風、不知火、
 霰、陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、

【航海中】

伊二五 (十月二十九日横須賀發―作業地へ)
早靱 (十月二十九日作業地發―横須賀へ)
間宮 (十月三十日吳發―作業地へ)
伊一〇 (十月三十一日神戸發―吳へ)

追風、朝風、疾風、夕風、白露、夕暮、
 時雨、漣、潮、曙、有明、風、萩風、
 雷、海風、江風、山風、涼風、夕風、
 秋雲、三月月、秋風、太刀風、羽風、
 隼、鴻、鵲、鴨、雉、雁、鳩、鷺、
 呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
 呂六八、呂六三、呂六四、呂二、伊一、
 伊三、伊六、伊四、伊五、伊八、伊九、
 伊一五、伊一六、伊一七、伊一九、伊二二、
 伊二三、伊六五、伊五七、伊五六、
 伊六四、伊六一、伊六二、伊六八、伊六九、
 伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、
 伊七五、伊二四、伊二二、伊二三、
 伊二三、
 掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 掃一七、掃一八、
 驅潛一、驅潛二、驅潛四、驅潛三、驅潛五、
 驅潛六、驅潛三、驅潛一〇、驅潛一六、
 驅潛一七、驅潛一八、
 哨二、哨三、哨三一、哨三六、
 宗谷、明石、隱戶

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百三十六號

昭和十六年十一月四日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一〇一二八號

佛印泰國境劃定委員會帝國海軍委員團規程中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月一日

海軍大臣

別表中

補助委員	海軍委員	大中佐	一人
專門委員	機關大中佐	一人	
	兵科佐尉官	一人	

帝國補助委員

海軍委員

大中佐 二人

「帝國委員附」ヲ「帝國委員隨員」ニ改メ「看護兵費、看護兵 二人」ヲ次ニ「技手 一人」ヲ加ヘ「但シ專門委員タル兵科佐尉官」ヲ「但シ補助委員タル大中佐

一人及委員隨員タル技手」ニ改ム

(昭和十六年六月二十一日海軍公報本體參照)

官房第五六九七號

潜水艦調査委員會規程中左ノ通改正ス

昭和十六年十一月一日

海軍大臣

第三條中「海軍艦政本部總務部第一課長 部員六人」ヲ「海軍艦政本部總務部第一課長 部員七人」ニ改ム

(諸例則卷一、七三三頁參照)

○通 牒

航本機密第一一二四號

昭和十六年十月三十一日

海軍航空本部長

第十一、二十一海軍航空廠長
海軍航空技術廠長 殿

海軍公報(部内限)第三千九百三十六號

昭和十六年十一月四日

一四五五

1026

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

航本機密第二九一七號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

記

供給先

年額

軍艦山城

六〇〇圓

特設巡洋艦報國丸

二〇〇圓

特設巡洋艦愛國丸

二〇〇圓

○伊號第十潜水艦

二〇〇圓

○伊號第二十五潜水艦

二〇〇圓

（参照）昭和十六年四月二日海軍公報（部内限）

○辭令

臺灣總督府州事務官 矢野 謙三

臺灣總督府事務官 山本 毅一郎

臺灣總督府地方技師 松本 留吉

臺灣總督府專賣局技師 山田 貢

臺灣總督府屬 島倉 正明

同 藤木 義郎

臺灣總督府專賣局書記 神田 義祐

同 大山 英雄

臺灣總督府編修書記 北畠 現映

臺灣總督府交通局主事 高崎 芳郎

海南警備府附ヲ命ス

遞信局事務官兼遞信事務官 佐藤 章次

（各通）

遞信局書記補
兼遞信書記補

酒川 正信

同 橘田 松雄

聯合艦隊司令部附ヲ命ス

通信書記 森 廣芳

（各通）

同 内山 豐太郎

通信書記補 高尾 清作

遞信書記補 谷口 文雄

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 保坂 正太郎

同 市川 武雄

同 鈴木 武男

同 渡邊 敏治

同 奥山 英四郎

同 千葉 光雄

同 集配員 内山 佐一

同 板子 與七

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

（各通）

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上^{海軍省}海軍省)

臺北在勤海軍武官海軍大佐 伊藤安之進

臺北監理長ヲ命ス

海軍技術會議議員海軍大佐 關 郁乎

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(以上^{海軍省}同)

海軍機關中佐 瓜生 總男

第二課兼第一課勤務ヲ命ス(以上^{海軍省}海軍省軍需局)

海軍機關中佐 佐々木 正雄

第二課兼第一課勤務ヲ命ス

同 鈴木 俊郎

兼第一課勤務ヲ命ス

同 平松 義雄

兼第一課勤務ヲ免ス

海軍機關少佐 氏家 勝比古

(各通)

同 葛西 清一

第二課勤務ヲ命ス(以上^{海軍省}同)

○ 雜 款

○ 旗艦指定

第九根據地隊司令官ハ十月三十一日旗艦ヲ永興丸ニ指

定セリ

○ 司令砲艦一時變更

第一砲艦隊司令ハ十月三十日司令砲艦ヲ一時咸興丸ヨリ妙見丸ニ變更セリ

○ 正誤

本月一日令達欄中「官房第五六八四號」ハ「官房機密第一〇一二七號」ノ誤

海軍大尉正七位勳六等宮川 清、海軍大尉正七位勳六等橋本進次十月二十二日飛行訓練中遭難同二十三日殉職、同月二十五日宇佐海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

海軍公報(部内限) 第三千九百三十六號

昭和十六年十一月四日

一四五七

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十一月四日午前十時

【横須賀】春日、劍崎、山城、高雄、津輕

野分、舞風

伊七、伊一

驅潜特五三

【長浦】

知床、尻矢、野島

伊三三、伊三七

【横濱】

伊一

【浦賀】

伊一

【館山】

伊一

【大湊】

伊一

伊一

伊一

伊一

伊一

伊一

伊一

伊一

伊一

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、
 名取、長門、陸奥、嵯峨、橋立、球磨、
 伊勢、磐手、香椎、古守、日向、
 扶桑、比叡、霧島、古鷹、大鯨、香取、
 川内、龍驤、千歳、千代田、瑞穂、
 愛宕、鳥海、妙高、羽黑、那智、熊野、
 三隈、最上、鈴谷、那珂、利根、筑摩、
 龍田、蒼龍、飛龍、白鷹、蒼鷹、天龍、
 沖島、常磐、阿武隈、能登、呂、五十鈴、
 長鯨、赤城、加賀、神通、瑞鶴、
 鬼怒、山良、瑞鶴、大井、
 多摩、木曾、神威、風翔、
 神風、沼風、村雨、春雨、五月雨、夕立、
 汐風、帆風、春風、松風、朝風、旗風、
 大潮、荒潮、朝潮、滿潮、朝雲、峯雲、
 山雲、夏雲、初雪、白雪、吹雪、白雲、
 東雲、叢雲、綾波、磯波、敷波、浦波、
 夕霧、狹霧、天霧、朝霧、若葉、初霜、
 子日、初春、水無月、文月、皐月、長月、
 菊月、夕月、卯月、曉、響、電、雷、栗、
 梅、蓮、臘、早潮、親潮、夏潮、黑潮、
 時津風、初風、雪風、天津風、不知火、
 霞、陽炎、霞、谷風、浦風、濱風、磯風、
 追風、朝風、疾風、夕風、白露、秋風、
 時雨、潮、潮、有明、嵐、萩風、
 海風、江風、山風、涼風、夕風、秋雲、

【航海中】

早稲 (十月二十九日作業地發—横須賀へ)
 驅潜一五、驅潜二三、驅潜二四 (十月三十一日佐世
 保發—作業地へ)
 伊五三、伊五四、伊五五 (一日吳發—作業地へ)

三日月、秋風、太刀風、羽風、
 隼、鴻、鵠、鴨、雉、雁、鳩、鷺、
 呂六六、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七、
 呂六八、呂六三、呂六四、伊二二、伊三、
 伊六、伊四、伊五、伊八、伊九、伊一五、
 伊一六、伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、
 伊二五、伊六五、伊五七、伊五六、
 伊六四、伊六一、伊六二、伊六八、伊六九、
 伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、
 伊七五、伊二四、伊二二、伊二三、
 伊一二三、
 掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 掃一七、掃一八、
 驅潜一、驅潜二、驅潜四、驅潜三、驅潜五、
 驅潜六、驅潜三、驅潜一〇、驅潜一六、
 驅潜一七、驅潜一八、
 哨三、哨三一、哨三三、哨三六、
 宗谷、明石、隠戸、間宮、

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百三十七號

海軍大臣官房

昭和十六年十一月五日(水)

○通牒

官房機密第一〇一七三號

昭和十六年十一月五日

海 軍 次 官

關係各廳長殿

石油類ノ消費節約ニ關スル件申進

石油類ノ輸入杜絶セル現狀ニ鑑ミ之ガ消費ヲ極力節約
スルノ要切ナルモノ有之候ニ付テハ昭和十六年度下期
ニ於テハ上期ニ比シ三割昭和十七年度ニ於テハ昭和十
六年度ニ比シ四割以上ノ節約ヲ目途トシ左記ニ依リ實
施方取計相成度

追テ關係部外工場ニ對シテモ同様ノ趣旨ニ依リ指導
相成様致度

記

一、動力及工作設備用燃料
各種爐(反射爐、燒入爐、燒鈍爐、熔解爐、乾燥爐
等)及罐用等ノ燃料ニ付現品ノ入手及改造ノ難易、

製品ニ及ボス影響等ヲ考慮シ必要已ムヲ得ザルモノ
ノ外左ノ各號中適當ナルモノニ轉換スルモノトス

石炭爐

「コークス」爐

ハ、發生爐「ガス」爐

都市「ガス」爐

電氣爐

「タール」爐

石炭(粉炭又ハ塊炭)罐

二、自動車用燃料

使用場所及負荷並ニ燃料入手ノ地域の難易等ヲ考慮
シ左ノ各號中適當ナルモノニ轉換スルモノトス

但シ乗用自動車ノ轉換臺數ニ關シテハ昭和十六年官

房機密第七四三五號ニ依ルモノトス

「アセチレンガス」

「コークライト」又ハ石炭「ガス」

壓縮「ガス」(天然「ガス」又ハ都市「ガス」)

液化「ガス」

海軍公報(部内限)第三千九百三十七號

昭和十六年十一月五日

一四六一

1031

（ハニハ「ガス」生産地附近又ハ都市「ガス」ノ入手容易ナル地域ニノミ採用スルモノトス）

三、石油系潤滑油

極力動植物性油ヲ以テ代用スルモノトス

四、石油系洗滌油、切削油防銹油、稀釋媒溶劑

極力他ノ適當ナルモノヲ以テ代用スルモノトス

五、内火艇用燃料

内火艇ノ使用ハ特ニ必要アル場合ニノミ局限シ消費節約ヲ圖ルモノトス

六、其ノ他石油系油ヲ使用スルモノハ極力他ノ適當ナルモノヲ以テ代用スルモノトス

（設備轉換ニ關スル參考資料 所要ノ向ニ別途配付ス）

人祕第四號ノ三七

昭和十六年十一月五日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

部外者及同團體ノ功績具申書類到達期日

ニ關スル件照會

支那事變第一次功績調査期間（自昭和十二、七、二八）ニ對スル部外者及同團體ノ功績具申ニ關シテハ客年官房

第一八七七號令達（四月十六日）並ニ同年人祕第四號ノ二〇通牒（四月十六日）ニ基キ一般軍人軍屬ト同様其中セラルベキノ處尙未着ノモノ多ク事務上支障ヲ生シ居候條來十二月一日迄ニハ必ズ到着セシメラルル様具申相成度
追テ該當者無之場合ハ同期日迄其ノ旨通知相成度

經豫第五號ノ一五七

昭和十六年十一月五日

海軍省經理局長

關係各支出官殿

勞働手當配付豫算ノ件通牒

昭和十二年經豫第五號ノ三四一通牒首題ノ件別表中左記ノ通改正セラレ候

追テ本件ハ從來支給シ居ルモノヲ除キ十一月一日ヨリ施行ノコトト承知相成度

記

在役驅逐艦ノ欄中「同掃海艇」ノ次ニ「同驅潛艇」ヲ、防備隊ノ欄中「航空隊」ノ次ニ「通信隊、基地隊、陸戰隊、根據地隊、警備隊」ヲ追加シ「要港部」ヲ「旅順要港部」ニ改ム

備考

一ノ中「附屬敷設艇驅潛艇乗員」ノ次ニ「港務部ノ定員ヲ置カレタル附屬雜役船乗員」ヲ、
七ノ中「驅潛艇」ノ次ニ「港務部附屬ノ雜役船」ヲ追加ス

(會計法規類集一卷一二頁參照)

○ 辭 令

海南警備府附ヲ命ス
農林技師 下川 善之

海南警備府附農林技師 下川 善之
海南海軍特務部員ヲ命ス(以上計四海軍省)

潜水艦調査委員會委員ヲ命ス
海軍機關中佐 片桐 敏朗

浦賀監査官ヲ命ス
兼須賀海軍工廠造船部部員
兼會計部部員海軍主計中佐 青山 久二

海南警備府附ヲ命ス(以上計四同)
商工技師 曾根 文二

海軍主計特務中尉 高橋 辰治
美幌海軍航空隊殘留隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ

爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少尉 安藤 重義
右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上計四支出官海軍省經理局長)

海軍主計特務少尉 坂本 源太郎
鹿屋海軍航空隊殘留隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(計四同)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
第九根據地隊司令官ハ十月三十一日將旗ヲ一時初鷹ニ掲揚セリ

○旗艦變更
第一遣支艦隊司令長官ハ十月三十一日旗艦ヲ宇治ヨリ安宅ニ變更セリ

○司令驅潛艇一時變更
第五十二驅潛隊司令ハ十月二十九日司令驅潛艇ヲ一時第十五福榮丸ヨリ第十七昭南丸ニ變更セリ

○開隊
第九十二警備隊ヲ十月三十一日横須賀海兵團内ニ開隊セリ

海軍公報(部内限) 第三千九百三十七號

昭和十六年十一月五日

一四六三

1033

追テ十一月八日迄ニ到達見込ノ當隊宛ノモノハ左記ニ依リ發送相成度

記

横須賀海兵團内 川崎部隊

（第九十一警備隊）

○卒業式ニ參列ノ仲照會

來十一月十七日大分海軍航空隊ニ於テ當隊第三十四期飛行學生卒業式並ニ優等卒業學生御下賜品拜受式舉行相成候ニ就テハ勤務ニ差支ナキ限り右修業者參列方配慮相成度

追テ十一月十日迄ニ當日參列可能者ノ官氏名通知ヲ得度

（第十二聯合航空隊司令部）

○旅行順路ノ件

當分遣隊ヘノ旅行順路左記ノ通ニ付轉勤者等ニ對シテハ誤ナキ様示達方取計相成度

記

一、所在地 茨城縣行方郡大生原村

二、旅行順路

(イ) 水戸、土浦方面ヨリ

常磐線石岡驛乗換參宮鐵道玉造驛下車バス（潮來經由）延方村徒歩約五軒、

(ロ) 東京方面ヨリ

（ハ）總武本線（成田廻リ）佐原驛下車バス潮來町其ノ他

(一) 潮來町ヨリ電話連絡アリ（電話潮來一五六番建築部事務所）

(二) 鹿島海軍航空隊トハ每週三回（月、水、金）舟艇連絡便アルヲ以テ同航空隊ヲ經由スルヲ便利トス

(三) 旅費支給上ノ里程ハ近日横須賀鎮守府主計長會報ニ掲載セラルル筈

（鹿島海軍航空隊北浦分遣隊）

○事務引繼

神戸海軍監督官事務所資金前渡官吏九月二十三日事務引繼了ス

新任

海軍機關大佐 岡田 行二

前任

海軍主計大佐 服部 薫

○事務所撤去

伊號第二十四潜水艦機裝具事務所ヲ十月三十一日撤去セリ

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十一月五日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、高雄、津輕

伊七、伊一

【長浦】

伊三▲、(伊三六)▲、(伊三七)▲

【横濱】

伊一▲

【浦賀】

伊一▲

【館山】

伊一▲

【大湊】

八丈、石垣、國後、
沖風、伊神風、沼風、波風、野風

【吳】

淺間▲、八雲▲、初鰐

伊一○、伊二○、伊一八、伊三、伊五七▲

呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五八、伊六六

伊掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

伊掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【大阪】

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

【神戸】

(驅潜二四)▲、(伊良湖)▲、(伊三一)▲、(伊四二)▲、(伊二二)▲

【相生】

(秋津洲)▲、(驅潜三三)▲、(若鷹)▲

【德島】

伊六▲

【佐伯】

伊六▲

【舞鶴】

伊六▲

【佐世保】

伊六▲

【長崎】

伊六▲

【鎮海】

伊六▲

【作樂地】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

【阿賀野】

伊六▲

伊六八、伊六三、伊六四、伊二、伊三、
 伊六、伊四、伊五、伊八、伊九、伊一五、
 伊二六、伊一七、伊一九、伊二二、伊二三、
 伊二五、伊六五、伊五七、伊五、伊六四、
 伊六一、伊六二、伊六八、伊六九、伊七〇、
 伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、
 伊二四、伊二二、伊二三、伊二一、
 掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九、
 掃一七、掃一八、
 驅潛一、驅潛二、驅潛四、驅潛三、驅潛五、
 驅潛六、驅潛二、驅潛一〇、驅潛一六、
 驅潛一七、驅潛一八、
 哨二、哨三、哨三三、哨三六、
 宗谷、明石、隱戶、間宮、
 【航海中】
 早鞆 (十月二十九日作業地發—橫須賀) ()
 驅潛二五、驅潛二三、驅潛一四 (十月三十一日佐世
 保發—作業地) ()
 伊五三、伊五四、伊五五 (一日吳發—作業地) ()
 鳴戸 (三日德山發—作業地) ()
 襟裳 (三日吳發—四日市) ()
 山城 (四日橫須賀發—佐伯) ()
 長良 (四日佐世保發—作業地) ()
 野分、舞風 (四日橫須賀發—作業地) ()
 朝日 (四日吳發—作業地) ()
 野島 (四日橫須賀發—吳) ()

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十六年十一月五日(水)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第五七〇四號

昭和十六年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十六年十一月四日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	定 數	別 記	製 造 所	契 約 納 入 場 所	納 入 豫 定 期 日	備 考
第四〇〇號	特種運貨船 (十四米)	佐世保防備隊	臨時附屬		播磨造船所	吳工廠	昭和十六年十一月十日	
第四〇二號	同	同	同		同	同	同	
第四〇三號	同	同	同		浦賀船渠會社	橫須賀工廠	同	
第四〇四號	同	同	同		同	同	同	
第四〇五號	同	同	同		三菱橫濱船渠	同	同	
橫須賀防備隊		臨時附屬						

海軍公報 (部内限) 號外

1037

第四〇六號	特種運貨船 (十四米)	
第四〇七號	同	
第四〇八號	同	
第四〇九號	同	
第四一〇號	同	
第四一一號	同	
第四一二號	同	
第四一三號	同	
第四一四號	同	
第四一五號	同	
第四一六號	同	
第四一七號	同	
第四一八號	同	
第四一九號	同	
第四二〇號	同	
佐世保防備隊		
臨時附屬		
播磨造船所	吳工廠	昭和十六年 十二月末日
石川島造船所	橫須賀工廠	同
浦賀船渠會社	同	同
三菱橫濱船渠	同	同
橫須賀防備隊		
臨時附屬		

三

1039

第四四九號	同	(同)	橫須賀防備隊					臨時附屬					第四四六號	特型運貨船 (十四米)
第四四八號	同	(同)											第四三七號	同
第四四七號	同	(同)											第四三八號	同
第四四六號	同	(同)											第四三九號	同
第四四五號	同	(同)											第四四〇號	同
第四四四號	同	(同)											第四四一號	同
第四四三號	同	(同)											第四四二號	同
第四四二號	同	(同)											第四四三號	同
第四四一號	同	(同)											第四四四號	同
第四四〇號	同	(同)											第四四五號	同
第四三九號	同	(同)											第四四六號	同
第四三八號	同	(同)											第四四七號	同
第四三七號	同	(同)											第四四八號	同
第四三六號	同	(同)											第四四九號	同
第四三五號	同	(同)											第四五〇號	同
第四三四號	同	(同)											第四五一號	同
第四三三號	同	(同)											第四五二號	同
第四三二號	同	(同)											第四五三號	同
第四三一號	同	(同)											第四五四號	同
第四三〇號	同	(同)											第四五五號	同
第四二九號	同	(同)											第四五六號	同
第四二八號	同	(同)											第四五七號	同
第四二七號	同	(同)											第四五八號	同
第四二六號	同	(同)											第四五九號	同
第四二五號	同	(同)											第四六〇號	同
第四二四號	同	(同)											第四六一號	同
第四二三號	同	(同)											第四六二號	同
第四二二號	同	(同)											第四六三號	同
第四二一號	同	(同)											第四六四號	同
第四二〇號	同	(同)											第四六五號	同
第四一九號	同	(同)											第四六六號	同
第四一八號	同	(同)											第四六七號	同
第四一七號	同	(同)											第四六八號	同
第四一六號	同	(同)											第四六九號	同
第四一五號	同	(同)											第四七〇號	同
第四一四號	同	(同)											第四七一號	同
第四一三號	同	(同)											第四七二號	同
第四一二號	同	(同)											第四七三號	同
第四一一號	同	(同)											第四七四號	同
第四一〇號	同	(同)											第四七五號	同
第三九九號	同	(同)											第四七六號	同
第三九八號	同	(同)											第四七七號	同
第三九七號	同	(同)											第四七八號	同
第三九六號	同	(同)											第四七九號	同
第三九五號	同	(同)											第四八〇號	同
第三九四號	同	(同)											第四八一號	同
第三九三號	同	(同)											第四八二號	同
第三九二號	同	(同)											第四八三號	同
第三九一號	同	(同)											第四八四號	同
第三九〇號	同	(同)											第四八五號	同
第三八九號	同	(同)											第四八六號	同
第三八八號	同	(同)											第四八七號	同
第三八七號	同	(同)											第四八八號	同
第三八六號	同	(同)											第四八九號	同
第三八五號	同	(同)											第四九〇號	同
第三八四號	同	(同)											第四九一號	同
第三八三號	同	(同)											第四九二號	同
第三八二號	同	(同)											第四九三號	同
第三八一號	同	(同)											第四九四號	同
第三八〇號	同	(同)											第四九五號	同
第三七九號	同	(同)											第四九六號	同
第三七八號	同	(同)											第四九七號	同
第三七七號	同	(同)											第四九八號	同
第三七六號	同	(同)											第四九九號	同
第三七五號	同	(同)											第五〇〇號	同

○ 雜 款

○ 正誤

七月十一日公報（部内限）令達官房第三七八〇號中「報國第五號」ハ「報國第六號」、「報國第六號」ハ「報國第五號」七月十二日公報「部内限」令達官房第五四五號ノ九公稱第四一〇號及同官房第三七九號公稱第一一七五號ノ各項中「定數補充」ハ「臨時附屬」、八月四日公報「部内限」號外令達官房第五四五ノ一〇公稱第三八二七號ノ項中「（三百圓積）」ハ「（五百圓積）」、九月四日公報（部内限）號外令達官房第五四五號ノ一一公稱第三〇〇三號ノ項中「（舉揚力三十圓）」ハ「（舉揚力二十圓）」ノ孰レモ誤

附

(部内限)第三千九百三十八號

昭和十六年十一月六日（木）

海軍大臣官房

三、講習指導官及輔佐官

官房機密第一〇二一四號

左ノ各號ニ依リ海軍航空技術廠ニ於テ航空關係醫務衛生講習ヲ實施ス

所屬長官ハ第四號ノ講習員ヲ派遣スベシ但シ任務其ノ他ノ都合ニ依リ差遣シ能ハザル者アルトキハ其ノ旨報告スルト共ニ海軍航空技術廠長ニ通報スルモノトス

昭和十六年十一月六日

海軍大臣

一、講習科目

(一) 實施部隊軍醫長トシテノ職責遂行上必要ト認メラルベキ航空醫學上其ノ他ノ重要事項

航空機搭乗員ノ疲勞豫防對策

三、航空機搭乘員身體檢查改正要項

(四) 熱地ニ於ケル航空基地員ノ保健防疫對策

二、講習期日

昭和十六年十二月十日ヨリ三日間

海軍公報（部內限）第三千九百三十八號

昭和十六年十一月六日

一四六七

1042

習開始ノ前日横須賀着終了當日同地發トシ請求ヲ俟
テ別途配付ス

○通牒

軍務一機密第七六七號

昭和十六年十一月六日

各廳長殿

海軍省軍務局長

未成艦艇ノ機密保持ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ進水ノ公表ヲ差控ヘ進水式觀覽者
ノ範圍ヲモ制限スル等嚴ニ之ガ漏泄防止ノ方策ヲ講ジ
アル處最近部内ニ於テ日常談話ノ間ニ未成艦艇ニ關ス
ル事項特ニ部内一般ニ對シテモ秘匿セラレアル軍極秘
ニ屬スル艦艇名又ハ軍機ニ屬スル艦艇ノ要目等ヲ機密
程度ニ關スル注意ヲ拂フコトナク話題ニ供スル者アリ
且不用意ニ近親者ニ漏泄シタル事項ガ轉々シテ遂ニ在
京某國大使館ニ投書セラレ或ハ士官相互間ノ談話ノ内
容ガ下士官兵ヨリ市井ニ流布セラルル等防諜上憂慮ス
ベキ事例アルニ付テハ軍機軍極秘ニ屬スル事項ハ勿論
未成艦艇ニ關スル事項ヲ濫リニ話題ニ供スルガ如キコ
トナキ様殿ニ示達相成度

○辭令

(各通)

通信書記 島井鹿藏
同 平信利

集配員 竹川明

同 岡邊武士

同 河内太市

同 鈴木清志

第一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計十四名海軍省)

通信書記 渡瀬一夫

第八海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 松原秀夫

同 山道春人

同 石田久男

同 吉田順市

集配員 吉川愛治

同 石岡藏市

同 島田市五郎

第八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上計十四名同)

○雜款

○將旗移揚 第二十二航空戰隊司令官ハ十一月二日將旗ヲ九基地ニ移揚セリ	○將旗一時移揚 廣東方面特別根據地隊司令官ハ十一月二日將旗ヲ一時橋立ニ移揚セリ	第二十一航空戰隊司令官ハ十一月四日將旗ヲ一時東港航空隊ニ移揚セリ	○司令艇一時變更 第五十二驅潛隊司令ハ十月二十九日司令驅潛艇ヲ一時第十五福榮丸ヨリ第十七昭南丸ニ變更セリ	○司令艇復歸 第一驅潛隊司令ハ十月二十八日司令驅潛艇ヲ第一號驅潛艇ニ復歸セリ	○郵便物發送先 自今當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度	記 本隊宛 十一月六日以降到達見込ノモノハ 橫須賀郵便局氣付參○七四 殘留隊宛 臺灣高雄州東港街 東港海軍航空隊殘留部隊
當隊宛發送書類ハ殘留部隊關係以外ハ直接本隊宛ニ、殘留部隊宛書類ニシテ本隊ニ關係アルモノハ寫一通本隊宛發送相成度 追テ各學校練習生試験問題ハ本隊、殘留部隊宛各一通、功績關係書類ハ殘留部隊宛發送相成度 (東港海軍航空隊)		當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度 司令、隊機關長宛 若葉 軍醫長宛 初霜 主計長宛 子日 (第二十一驅逐隊)		本艇宛郵便物ハ自今當分ノ間廣東經由送付ノコトニ取計ヲ得度 尙本艇ハ單獨水雷艇ノ處從來第一水雷隊ニ誤送セララルコト多キ爲入手遲延等ノ爲事務處理上支障甚ダシキニ付發送ニ當リテハ十分留意相成度 (水雷艇 鴨)		○事務所設置 第三海軍軍需部設立事務所ヲ十一月一日吳海軍軍需部内ニ設置セリ ○事務所撤去

海軍公報(部内限)第三千九百三十八號 昭和十六年十一月六日

一四六九

1044

伊號第二十四潜水艦艦員事務所ヲ十月三十一日撤去セリ

○十一月一日以降當艦隊司令部職員ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ高雄海軍航空隊主計長ヲシテ掌理セシム
（第十一航空艦隊司令長官）

○特設運送船寶洋丸行動豫定

地名	着	發
舞鶴	十一月一日	十一月三日
徳山	十一月五日	十一月七日
横濱	十一月九日	十一月十一日
徳山	十一月十三日	十一月十五日
下津	十一月十六日	十一月十八日
吳（倉橋）	十一月十九日	十一月二十二日
四日市	十一月二十四日	十一月二十六日
吳（倉橋）	十一月二十八日	十一月三十日
尼崎	十二月一日	

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十一月六日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、高雄、津輕
伊七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊四、伊五
驅潜特五三▲
知床

【長浦】

伊三三▲、(伊三六)▲、(伊三七)▲
伊一▲

【石川島】

(驅潜二七)

【横濱】

(築紫)▲
(風雲)▲

【浦賀】

八丈、石垣、國後
澤風

【館山】

沖風、伊神風、沼風、波風、野風
哨三、哨三五

【大湊】

大泊

【四日市】

襟裳
淺間▲、八雲▲、初鷹、千代田

【吳】

伊二〇、伊一八、伊三三、伊五七▲、呂五八▲
呂五九、伊五二、伊五八、伊六六
伊掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五
伊驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜一九、
驅潜二〇、驅潜二一
哨四六▲、哨三三
佐多、攝津、石廊
(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(伊七六)▲

【大阪】

矢風

【神戸】

(卷雲)▲、(驅潜二四)
(伊良湖)▲、(伊三二)▲、(伊四二)▲、(伊一一)▲
(秋津洲)▲

【相生】

(驅潜三三)▲、(若鷹)▲
伊六〇▲

【玉】

尻矢

【德山】

摩耶

【佐伯】

吾妻

【舞鶴】

薄雲▲

【佐世保】

伊初雁、友鶴、千鳥、真鶴
伊呂三三▲
哨三七▲
鶴見、室戸
(夕雲)▲、(秋月)▲
北上、嚴島、八重山、能登呂
望月、伊睦月、如月、彌生
呂三〇▲、呂三三▲、呂三三▲、呂三三▲
呂六〇▲、伊五九▲、伊二四▲
哨三九、哨三八
敷島▲
(阿賀野)▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲、(伊四三)▲
驅潜特五二▲

【長崎】

櫻野

【鎮海】

伊芙蓉、朝顔、峯風、刈萱

【作業地】

伊出雲、宇治、伊安宅、二見、伏見、比良、
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、

【航海中】
早潮
〔十月二十九日作業地發——橫須賀〕
驅潛二五、驅潛二三、驅潛二四（十月三十一日佐世保發——作業地）
伊五三、伊五四、伊五五（一日吳發——作業地）
山城（四日橫須賀發——佐伯）
長良（四日佐世保發——作業地）
野分、舞風（四日橫須賀發——作業地）
朝日（四日吳發——作業地）
野島（四日橫須賀發——吳）
伊一〇（五日吳發——佐世保）

伊隼、鴻、鵠、鴨、雌、雁、鳩、鷺
呂六二、呂六一、呂六六、呂六五、呂六七
呂六八、呂六三、呂六四、伊八一、伊九、伊一五
伊一六、伊一七、伊一九、伊一二、伊二三
伊二五、伊六五、伊五七、伊五六、伊六四
伊六一、伊六二、伊六八、伊六九、伊七〇
伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五
伊一二四、伊一二三、伊二三、伊三三
掃七、掃八、掃九、掃二〇、掃二一、掃二二
掃三、掃二四、掃一五、掃一六、掃一九
掃一七、掃一八
驅潛一、驅潛二、驅潛四、驅潛三、驅潛五
驅潛六、驅潛二二、驅潛一〇、驅潛一六、
驅潛一七、驅潛一八
哨二、哨三、哨三一、哨三六
宗谷、明石、隠戸、間宮、鳴戶

海軍公報(部内限)附録

海軍大臣官房

昭和十六年十一月六日(木)

昭和十六年八月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期等左ノ通

(海軍省人事務局)

艦船名		加算		始終期		著發地名		行先		任務		恩給叙勳		加算率(二ヶ月)		記事	
足柄	長良	名取	足柄	長良	名取	足柄	長良	名取	足柄	長良	名取	足柄	長良	名取	足柄	長良	名取
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二四	一九	二四	一九	二四	一九	二四	一九	二四	一九	二四	一九	二四	一九	二四	一九	二四	一九
ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ
リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	デ
南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面
事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務	事變地勤務
二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發	同發
馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發	馬公發
基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着	基隆着

海軍公報(部内限)附録

1048

巖 島		常 磐		駒 橋	神 威	能 登 呂	飛 蒼 龍	熊鈴三最 野谷隈上	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
六	二	二七	九	一三	八	二〇	七	七	七
ヨ リ	マ デ	同	横 須 賀	別 府	横 須 賀	横 須 賀	マ デ	マ デ	マ デ
南 支 方 面		南 洋		南 洋		南 洋			
事 變 地 勤 務		遠 洋 航 海		遠 洋 航 海		遠 洋 航 海			
二 月		一 三 分 月		一 三 分 月		一 三 分 月			
二 月									
同 發	基 隆 着						佐 世 保 着		宿 毛 着

海軍公報（部内限）附録

香 椎	國 後	占 守	出 雲	幣 手		沖 島		八 重 山	
昭和 一六									
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
四	九	四	二〇	一六	一四	二九	一七	一二	一一
ヨ リ	マ デ	マ デ	ヨ リ	ヨ リ	マ デ	同	横 須 賀	ヨ リ	マ デ
度佛 支領 那印			中 支 方 面	北 支 方 面		南 洋		南 支 方 面	
事變地 勤務			同	事變地 勤務		遠 洋 航 海		事變地 勤務	
二 月			二 月	二 月		一 三 分 月		二 月	
二 月			二 月	二 月				二 月	
佐 世 保 發	馬 公 着	馬 公 着	佐 世 保 發	同 發	旅 順 着			同 發	基 隆 着

三

1050

松春 風風		朝 風		太 刀 風		秋 風	羽 風		沖 風
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二七	二三	二九	二一	二四	二〇	二〇	二四	二〇	三一
ヨ	マ	マ	ヨ	ヨ	マ	マ	ヨ	マ	マ
リ	デ	デ	リ	リ	デ	デ	リ	デ	デ
南支方面		南支方面		南支方面			南支方面		
事變地勤務		事變地勤務		事變地勤務			事變地勤務		
二月		二月		二月			二月		
二月		三月		二月			二月		
同發	高雄着	横須賀着	同發	高雄着	同發	高雄着	同發	高雄着	佐世保着

海軍公報 (部内限) 附録

四

1051

海軍公報 (部内限) 附録

文 月		水 無 月		阜 月		卯 月	陸 月	旗 風	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二	一	一	一	二	一	七	一	二	一
二	八	七	三	二	八	四	九	九	七
ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ	佐	マ	ヨ
リ	デ	リ	デ	リ	デ	リ	世	デ	リ
南		南		南		南		南	
支		支		支		支		支	
方		方		方		方		方	
面		面		面		面		面	
事		事		事		事		事	
變		變		變		變		變	
地		地		地		地		地	
勤		勤		勤		勤		勤	
務		務		務		務		務	
二		二		二		二		二	
月		月		月		月		月	
二		二		二		二		二	
月		月		月		月		月	
同	高	同	高	同	高	佐		横	同
發	雄	發	雄	發	雄	世		須	發
	着		着		着	保		賀	
						着		着	

五

1052

千島			舞野 風分	刈 萱	夕 月	望 月	菊 月	長 月	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二五	二二	六	二四	一六	七	一九	七	一七	一三
ヨ	マ	ヨ	鎮海發	マ	マ	佐世保	マ	ヨ	マ
リ	デ	リ	デ	デ	リ	リ	デ	リ	デ
同	北支方面		横須賀へ	北支方面	南支方面		同	南支方面	
同	事變地勤務		(朝鮮在勤)	同	事變地勤務		同	事變地勤務	
二月	二月			二月	二月		二月	二月	
二月	二月			二月	二月		二月	二月	
同發	同着	同發	旅順着	同着	旅順發	馬公發 佐世保着	佐世保着	馬公發	同發 高雄着

海軍公報 (部内限) 附録

友 鶴	鴻	鴨	伊號第百二 十一潜水艦	伊號第百二 十二潜水艦	伊號第百二 十四潜水艦	呂號第六十 三潜水艦	呂號第六十 四潜水艦	呂號第六十 五潜水艦	呂號第六十 六潜水艦	呂號第六十 七潜水艦
八	八	八	一六	一六	八	八	八	八	八	八
一七	二〇	三〇	一	三	八	二六	二五	二九	二九	二九
マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	マ
デ	デ	デ	デ	デ	デ	デ	デ	デ	デ	デ
北支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面	南支方面
事變地勤務	同	同	事變地勤務	同	同	同	同	同	同	同
二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
旅順着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着
旅順着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着	同着

七

1054

尻 矢	佐 多		襟 裳	知 床	明 石	掃 海 艇 號	第 十 九 號	第 十 三 號 掃 海 艇	第 十 四 號 掃 海 艇	第 十 五 號 掃 海 艇	第 十 六 號 掃 海 艇	第 十 七 號 掃 海 艇	第 十 八 號 掃 海 艇	呂 號 第 六 十 八 潛 水 艦
八 二 九	八 二 八	八 二 二	八 五	八 二 一	八 五	八 二 九			八 二 八	マ デ				八 二 六
横 須 賀	ヨ リ	マ デ	吳	横 須 賀	マ デ	マ デ			マ デ					舞 鶴
	南 支 方 面			南 洋										
	事 變 地 勤 務			遠 洋 航 海										
	二 月			一 三 分 月										
	二 月													
	馬 公 發	高 雄 着			佐 伯 着	舞 鶴 着			吳 着					

海軍公報（部内限）附録

八

1055

海軍公報（部内限）附録

辰和丸	萬光丸		那智山丸	第一玉園丸	首里丸			廣徳丸	
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
一二	二八	六	二一	二	二二	一九	六	二	一七
ヨ	ヨ	マ	マ	二	ヨ	マ	ヨ	マ	ヨ
リ	リ	デ	デ	見	リ	デ	リ	デ	リ
度及南支那方面	南支方面				同	北支方面			南支方面及中支方面
同	事變地勤務				同	事變地勤務			事變地勤務
二月	二月				二月	二月			二月
二月	二月				二月	二月			二月
佐世保發	基隆發	馬公着	八幡着		同發	同着	旅順着	高雄着	馬公發 佐世保着

一〇

1057

以下有分
ルニ加
七國アル
ト知ル

海軍公報（部内限）附録

阿蘇丸		第六眞盛丸	妙高丸			大興丸		勝泳丸	五洲丸
八	七	八	八	七	七	八	七	八	八
一	三	一	二	一	一	二	一	二	二
二	一	三	〇	六	七	七	四	一	八
マ	ヨ	横須賀	ヨ	マ	マ	マ	ヨ	横須賀	横須賀
デ	リ		リ	デ	デ	デ	リ		
同	南支方面		同	同	同	同	南支方面		
同	事變地勤務		同	同	同	同	事變地勤務		
二	二		二	二	二	二	二		
月	月		月	月	月	月	月		
二	二		二	二	二	二	二		
月	月		月	月	月	月	月		
馬公着	同發	佐世保發	同發	馬公着	馬公着	同發	馬公着	佐世保發	
	基隆着			高雄發	佐世保發	佐世保着			

木曾丸			君島丸		神津丸		射水丸		
八	八	八	八	八	八	七	八	八	八
二九	一三	一三	二〇	一六	二七	一一	二九	一二	二九
マ	ヨ	マ	ヨ	マ	マ	ヨ	マ	ヨ	マ
デ	リ	デ	リ	デ	デ	リ	デ	リ	デ
同	同	同	南支方面		同	同	南支方面		南支方面
同	同	同	事變地勤務		同	同	事變地勤務		事變地勤務
二	二	二	二		二	二	二		二
月	月	月	月		月	月	月		月
舞鶴着	同發	馬公着	同發	馬公着	同發	同發	同發	同發	同發
		基隆着	佐世保發		佐世保着	同發	高雄着	同發	大阪着

昭第 南十 丸七	西新 安興 丸丸	須興 磨の 浦丸	弘 玉 丸		小 牧 丸		第 十 一 京 丸	第 二 京 丸	乾 隆 丸
.....									
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
一	二	二	一	二	一	三	二	二	二
一	九	九	二	二	一	マ	マ	マ	マ
マ	マ	マ	同	二	ヨ	マ	マ	マ	マ
デ	デ	デ		見	リ	デ	デ	デ	デ
			南		中				
			洋		支				
			遠		事				
			洋		變				
			航		地				
			海		勤				
			務		務				
			一		二				
			三		月				
			分		二				
			ノ		月				
			月		二				
					月				
基 隆 着	大 阪 着	舞 鶴 着			同 發	佐 世 保 着	大 阪 着	舞 鶴 着	大 阪 着

笛崎丸	萬洋丸	日祐丸		南浦丸			東榮丸	園部丸	
八 二九 マ デ	八 二七 マ デ	八 二七 マ デ	八 一〇 マ デ	八 二九 マ デ	八 一三 マ デ	七 二五 マ デ	八 六 マ 山	八 二 マ 見	八 二三 マ リ
		南支方面		同	同	南支方面			南支方面
		事變地勤務		同	同	事變地勤務			事變地勤務
		二月		二月	二月	二月			二月
		二月		二月	二月	二月			二月
大阪着	佐世保着	佐世保着 同發	高雄着	大阪着 同發	馬公着 同發	基隆着 佐世保發			基隆發

海軍公報(部内限)附錄

一四

1061

追加

訂正	第十七日		武庫丸	寶洋丸	吉野丸	りれん丸	留羽丸	三江丸
	出	丸						
訂正 二、三月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期等二六頁江戸丸ノ項「一六、二九、横須賀」ヲ「一六、二、一六、二見」ニ、同五月中一四頁豊國丸ノ項「南支方面」ヲ「中支方面」ニ、同六、七月中三頁駒橋ノ項「四、二一、横須賀」ヲ「六、二五、横須賀」ニ改ム 六、二五、同「六、二五、横須賀」ニ改ム	八	八	八	八	八	八	八	五
	一六	三	二二	七	二	三一	六	二五
	ヨ	マ	横須賀	徳山	二見	横須賀	ヨ	横須賀
	南支方面		南洋				度佛支領那印	
	事變地勤務		遠洋航海				事變地勤務	
	二月		三分月				二月	
	二月						二月	
	馬公着						馬公發	
	同發							

海軍公報（部内限）附録

一五

1062

海軍公報（部内限）附録

一六

備考
恩給加算事項發生ノトキハ昭和五年軍務一第一八一號照會（會計法規中卷七六九頁參照）ニ依リ各艦船
ヨリ直ニ通報ノコト

1063

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第三千九百三十九號

昭和十六年十一月七日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第四六二五號ノ二

昭和七年官房機密第六〇四號中左ノ通改正ス

昭和十六年十月五日

海 軍 大 臣

横須賀防備隊ノ項以下ヲ削ル

参照 昭和七年官房機密第六〇四號ハ行政整理ニ依リ定員中一部配員セザルノ件ナリ(内令提要卷一、四六九頁)

○通 牒

官房機密第一〇二六八號

昭和十六年十一月七日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

兵器簿挿換舊紙等處理ニ關スル件中改正ノ件申進

昭和十四年官房機密第五〇八四號申進首題ノ件中「所

○辭 令

管軍需部「ヲ」所管軍需部又ハ所管航空廠「ニ」、「各軍需部」ヲ「各軍需部又ハ各航空廠」ニ改メラレ候

海南警備府附ヲ命ス(計四海軍省) 内務技師 荒井 力

(各通) 鑛山監督局技師 千葉 福壽
商工局 三堀 好司
鑛山監督局技師 大石 瑞夫
商工技手 大木 恒

海南警備府附ヲ命ス(計四同) 軍令部出仕海軍大尉 松井 利夫

第四部第十課勤務ヲ命ス(計五海軍令部) 海軍兵曹長 栗田 彌一郎

通信部第十課勤務ヲ命ス(計五大本營海軍部) 海軍大尉 松井 利夫

海軍特務少尉 西池 喜代志

海軍公報(部内限)第三千九百三十九號

昭和十六年十一月七日

一四七三

1064

(各通)

海軍兵曹長 古川 義記
同 津田 芳夫

通信部第十課勤務ヲ命ス(二十五日同)

海軍主計兵曹長 河野 豊

元山海軍航空隊殘留隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ
爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計兵曹長 佐伯 伊太郎

東港海軍航空隊殘留隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ
爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上二日同)支出
官 海軍省經理局長)

水路部附屬第四海軍
氣象部附屬海軍技手 橋本 三一

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(二十五日水路部長)

水路部附屬南道艦隊
司令部附屬海軍技手 篠原 健三

(各通)

同 倉上 國富
同 福士 三郎

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(二十五日同)

○ 雜 款

○將旗一時移揚

羅津根據地隊司令官ハ十月四日將旗ヲ一時白海丸ニ移
揚セリ

○將旗復歸
舞鶴防備戰隊司令官ハ十一月四日將旗ヲ山東丸ニ復歸
セリ

○司令驅逐艦復歸
第十六驅逐隊司令ハ十月三十日司令驅逐艦ヲ雪風ニ復
歸セリ

第七驅逐隊司令ハ十一月二日司令驅逐艦ヲ潮ニ復歸セ
リ

○司令艇變更
第四十四掃海隊司令ハ十月二十六日司令艇ヲ第六長巡
丸ニ指定セリ

○郵便物發送先
第九十一警備隊宛

自十一月九日到達見込ノモノハ
至十一月十三日到達見込ノモノハ

吳郵便局氣付 海軍川崎部隊

十一月十四日以後到達見込ノモノハ
佐世保郵便局經由第四十一海軍軍用郵便所氣付
海軍川崎部隊(軍事郵便)

○書類發送先
第三遣支艦隊司令部ノ給與ハ青島方面特別根據地隊ニ於テ掌理中ニ付自今關係書類ハ同隊宛發送相成度
(第三遣支艦隊司令部)

○事務引繼
東京海軍監督官事務所資金前渡官吏十月二十日事務引繼ヲ了ス
新任 海軍主計大佐 清水 信英
前任 池田 賢一

廣島海軍監督官事務所資金前渡官吏十一月一日事務引繼ヲ了ス
新任 海軍主計大佐 藤田 傳次
前任 海軍機關大佐 木原 直孝

○特設運送船さんくれめんで丸行動豫定

地名	着	發
吳山	十一月三日	十一月三日
德松	六日	六日
下山	九日	十一日
德市	十三日	十五日
德市	十七日	十九日
四市	二十一日	二十三日
德山	二十五日	二十七日

四日市 二十九日 十二月一日
崎 十二月二日

○本日普通公報發行セズ

海軍公報(部内限)第三千九百三十九號 昭和十六年十一月七日

一四七五

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ
指定ヲ要セズ

十一月七日午前十時

【横須賀】

春日▲、劍崎▲、高雄

伊七、伊二、伊一、伊三、伊六、伊四、伊五

驅潜特五三▲

【長浦】

伊二九▲、(伊三六)▲、(伊三一)▲

【石川島】

哨一▲

【横濱】

(驅潜二七)

【浦賀】

(風雲)▲

【館山】

八丈、石垣、國後

【大湊】

沖風、神風、沼風、波風、野風

【四日市】

淺間▲、八雲▲、初鷹、千代田

【吳】

伊二〇、伊一八、伊三三、伊二六、伊五七▲

呂五八▲、呂五九、伊五二、伊五八、伊六六

伊掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

驅潜八、驅潜七、驅潜九、驅潜二九、

哨四六▲、哨三三

佐多、攝津、石廊

【大阪】

(日進)▲、(伊三〇)▲、(伊一七六)▲

【神戸】

(卷雲)▲、(驅潜二四)

【相生】

(伊良湖)▲、(伊二八)▲、(伊三三)▲、(伊二一)▲

【德島】

(秋津洲)▲

【佐伯】

(驅潜三三)▲、(若鷹)▲

【舞鶴】

伊六▲

【佐世保】

尻矢▲

【長崎】

摩耶▲

【鎮海】

薄雲▲

【作業地】

呂三三▲

【佐多】

哨三七▲

【熱海】

哨三六▲

【鳥羽】

哨三九、哨三八

【勢多】

驅潜特五二▲

【保津】

(阿賀野)▲、(伊二七)▲、(伊三三)▲、(伊三四)▲

【保津】

驅潜特五二▲

【保津】

櫻野

【保津】

美蓉、朝顔、峯風、刈萱

海軍公報(部内限)第三千九百三十九號

昭和十六年十一月七日

一四七七

1067

戶集、鴻、鵲、鴨、戶雉、雁、鳩、鷺
 戶初雁、友鶴、千鳥、真鶴
 戶呂六二、呂六一、戶呂六六、呂六五、呂六七、
 戶呂六八、呂六三、呂六四、戶伊八、戶伊九、伊一五、
 伊一六、戶伊一七、伊一九、戶伊二、伊二三、
 伊二五、戶伊六五、戶伊五七、伊五六、戶伊四三、
 伊六一、伊六二、伊六八、戶伊六九、伊七〇、
 伊七二、戶伊七二、伊七三、戶伊七四、伊七五、
 戶伊二四、戶伊二二、伊二三、伊二三、
 戶掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、掃一九
 戶掃一七、掃一八
 戶驅潛一、驅潛二、戶驅潛四、驅潛三、驅潛五
 驅潛六、戶驅潛二二、驅潛二〇、驅潛二一、
 驅潛二六、驅潛二七、驅潛二八
 哨二、哨三、哨三六
 宗谷、明石、隱戶、間宮、鳴戶
 【航海中】
 早鞆 〔十月二十九日作業地發—橫須賀へ〕
 戶驅潛二五、驅潛二三、驅潛二四 〔十月三十一日佐世
 保發—作業地へ〕
 戶伊五三、伊五四、伊五五 〔二日吳發—作業地へ〕
 山城 〔四日橫須賀發—佐伯へ〕
 野分、舞風 〔四日橫須賀發—作業地へ〕
 朝日 〔四日吳發—作業地へ〕
 野島 〔四日橫須賀發—吳へ〕
 能登呂 〔六日佐世保發—徳山へ〕
 哨三二 〔六日作業地發—吳へ〕